

学校教育目標	『本物宿せ！本宿小』				
	◇ 主体的に探究し、考える力を育てます。(知) ◇ 自分や相手のよさを見つけ、多様性を尊重し合う心を育てます。(徳) ◇ 体を動かすことを楽しみ、健康・体力を高めようとする態度を養います。(体) ◇ 地域の人から学び、わがまちをよりよくしようとする心を育てます。(公) ◇ 夢や目標をもって、持続可能な社会を創造しようとする態度を養います。(開)				
学校概要	創立 63 周年	学校長 松比良 聡夫	副校長 内田 宏	2 学期制	一般学級：21 個別支援学級：5
	児童生徒数： 674 人	主な関係校： 本宿中学校・鶴ヶ峰中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	本宿中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> (自分自身を高めていく力)	本宿中学校 本宿小学校	人や自然との関わりの中で 豊かな心情を育み 自らを高められる子ども ・「自分自身を高めていく力」を引き出す学習指導のあり方について、発達段階・学年に応じた具体化した資質・能力をもとに探る。(含む教育課程の拡充) ・自己を理解する姿勢や他者を理解する態度を育成する。小中でつながりをもたせた手立てについて探る。 ・特別支援教育の視点をもった各教科等の学習の充実を目指す

中期取組目標	家庭・地域・諸機関と連携・協働したり、情報機器を活用したりして、主体的・対話的で深い学びを目指します。 ・本物体験とICT活用を充実させ、主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てます。 ・学級活動や縦割り活動、道徳・人権教育を充実させ、多様な他者と自己を尊重する心を育みます。 ・健康の大切さを学び、主体的に運動し、生活習慣を整えようとする態度を養います。 ・保護者・地域・諸機関・ボランティアとの連携・協働をより充実させ、主体的・対話的に学ぶ態度を養います。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①児童が自ら問いを見つけ、主体的に課題解決を図りながら学習するための授業づくり、ICTの活用を核に授業改善を行う。②学年に応じた「育てたい資質・能力」を明確にした授業づくりをする。
担当 校内研究推進委員会	
徳 人権教育	「居心地の良い学校づくり」を目指し、①横浜指導プログラムを定期的に取り入れ、自他のよさを感じる心を育てる。②人権教育の充実を図る③子どもたちがSOSを出せているかなど、個々の児童の様子を丁寧にとる。
担当 児童理解・道徳部	
体 健康教育	①自分自身の生活や身体のことなどについて見直し改善していくために、特別活動及び保健の授業を通して継続的に意識を高める。②柔軟性や体幹の力を養うために、楽しんだり、意義を理解したりしながら本宿体操に継続して取り組む。
担当 体育・保健部	
公 開 地域連携	①「他者と関わりながら解決しようとする態度」「相手意識」「地域の一員」としての自覚を育むために、体験や地域の方々学ぶ場面、様々な考えに触れる授業づくりに取り組む。②児童、教職員共に地域の「ひと・こと・もの」への視野を広げられるよう、地域学校協働本部等と協力できることを考えていく。
担当 総合・生活・地域連携	
いじめへの対応	①アンケートや「聞いて聞いて月間」、日常の子どもたちの様子のみとり、声かけを通して、子どもたちが困っていることを把握し、いじめの未然防止、早期の対応に取り組む。②保護者との関係づくりを土台に「いじめ防止」の啓発を継続する。
担当 いじめ対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①学校運営組織の見直しをして、特にICTにかかわる業務の分担を進める。②学年を基盤として授業力アップや日々の授業づくりに取り組む時間を毎月定期的に設ける。③職員同士が様々な人と語り合い学び合うことを目的に研修を意図的計画的に実施する。
担当 主幹・教務部	
特別支援教育	①個別級在籍児童の教育的ニーズを把握し、教師間で情報共有しながら個に応じた支援をしていく。②特別な支援を必要とする児童について、個別的教育支援計画・指導計画を作り、面談や連絡ファイル等で保護者の理解を得ながら支援する。複数で検討できるよう学年研やケース会議等を充実させる。
担当 特別支援教育委員会	
異学年交流	①スマイル活動や委員会、クラブ、学年間の交流などの「異学年交流」を通し、役割を果たすことで自己有用感を高め、すべての児童が「人と関わる」喜びを感じられる活動を実践する。②他者と関わりながら目標を達成したり、自分の課題を解決したりできるよう、児童の考えや願いを吸い上げながら計画・活動を進める。
担当 特活部・スマイル委員会	
担当	
担当	